

特定整備作業支援アプリ「楽々エーミング」を開発、4月27日より販売開始

拡張現実（AR）アプリで自動車特定整備作業を時短
自動車整備に従事するエンジニアの働き方改革・DX化に貢献

2022年4月21日

各位



株式会社シイエム・シイ（本社：愛知県名古屋市中区平和一丁目1番19号、代表取締役社長：佐々 幸恭）は、拡張現実（AR）技術を活用した自動車特定整備 エーミング作業（*1）をサポートするアプリケーション「楽々エーミング」を開発し、2022年4月27日より販売を開始いたします。

今、社会は先進技術の実用化が進み、製品機能の高度化・多機能化により、製品価値の維持・向上を支える修理・メンテナンスの領域では新たな作業や高度で複雑な作業の発生が見込まれております。特にモビリティ業界においては、CASE（*2）普及により車両技術が高度化するとともに、2021年11月よりフルモデルチェンジされる新型車には、ADAS装備（*3）が義務化されるなど、自動車整備会社は対応を迫られております。

エーミング作業を取り巻く環境としては、2024年まで“特定整備制度”の経過措置期間が設けられていますが、必要時にエーミング作業を省略した車両は車検に通らないこととなります。

エーミングは、車の前に対象物（ターゲット）を置き、センサーに認知させて正しい値を示すかを確認する作業です。車種によって、ターゲットを置く距離や位置はバラバラで、作業手順の検索を含めると、ターゲットを設置する準備作業までに30分から1時間ほどかかり、整備に従事するエンジニアの負担増が懸念されています。

当社はこの作業に関わる業務の負荷軽減をサポートすべく、エーミングサポートアプリ「楽々エーミング」を開発しました。（簡易エーミングツールとして特許出願中）

本アプリは、停止した車にタブレットをかざし、画面上で車の前後やタイヤなどの決められた場所に印を付けることでターゲット設置位置を表示することができます。作業のほとんどを画面上で実施することで、エンジニアがターゲットと車の間の距離を計算したり、車の周りを歩き回る必要がなくなります。準備時間は数分ほどに短縮でき、エンジニアの負担軽減にもつなげられます。

当社は、本アプリの導入を皮切りに、自動車整備に従事するエンジニアの働き方改革、整備業界のDX化への貢献を目指して参ります。

また、センシング機器のエーミングを必要とするその他業界への活用も視野に入れて、取り組んで参ります。

*1 エーミングとは、自動車の電子制御装置整備における機能調整作業のことです。

*2 CASE：モビリティの技術革新ワードである「Connected（コネクティッド）」、「Autonomous/Automated（自動化）」、「Shared（シェアリング）」「Electric（電動化）」の頭文字をとった略語

*3 ADASとは、車両に搭載されたカメラやセンサーが周囲の状況を把握し、自動車の動きを制御する先進運転支援システムです。義務化されるのは、自動ブレーキ機能です。